

# 28年4月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年4月1日～ 28年4月10日

## 2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
4月分の回答企業数は8社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### (1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/4月	5月	6月
仕入 動向	国産材製材品	25.0	18.8	18.8
	外材製材品	6.3	0.0	△ 6.3
	構造用集成材	28.6	28.6	14.3
消費 動向	国産材製材品	18.8	25.0	12.5
	外材製材品	6.3	12.5	6.3
	構造用集成材	28.6	35.7	14.3
在庫 動向	国産材製材品	0.0	0.0	6.3
	外材製材品	6.3	6.3	12.5
	構造用集成材	0.0	0.0	14.3

・プレカット部材の仕入は、国産材製材品及び構造用集成材が3ヵ月連続して増加。外材は4月の微増が、5月横ばい、6月はわずかに減少。

・プレカット部材の消費は、国産材、外材製材品及び構造用集成材とも3ヵ月連続して増加。

・プレカット部材の在庫は、国産材製材品及び構造用集成材は4月、5月の横ばいが、6月は

### (2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	28/4月	5月	6月
受注	31.3	25.0	12.5
加工	25.0	25.0	12.5
受注残	6.3	△ 18.8	△ 6.3

・プレカット工場の受注及び加工は、3ヵ月連続して増加。受注残は4月の増加が、5月、6月は減少。

## モニターからのコメント

### (加工用部材荷動き)

- ・価格一段安へ。消費は低水準で推移、在庫増加の傾向。
- ・外材は多くは仕入れない。国産材は需要期に入り、一度多めに仕入れて後は横ばいで。外材の消費が段々減少傾向にある。外材製材品は消費が少ないため在庫は多い。構造用集成材は需要が不安定なため、在庫も不安定。国産材のみ安定。
- ・仕入、消費、在庫は、仕事量に合わせて仕入するため加工の動向とほぼ連動する。
- ・仕入は変わらず、ホワイト集成材の入荷が遅れ気味。

### (受注動向)

- ・雪少なく、いつもより早めに春が訪れたが、全般的には荷動きは良くない。
- ・加工坪数確保のため、先取り加工が、当月、翌月位まで続く可能性、大。
- ・4月からの補助金の関係で4月末～5月中頃の上棟が増加。6月頃から梅雨入りの関係で減少する見込み。
- ・受注物件が少し多くなって来た。